

復活におけるキリストのビジョンと経験 (2)

復活によりダビデの子孫が神の御子となる

聖書：サムエル下 7:12-14 前半、ローマ 1:1, 3-4、8:28-30、

ヘブル 2:10-11、I コリント 15:31, 36

I. 「ダビデの子孫が神の御子となること」は、キリストが復活によって神の長子と明示される過程について語っています——サムエル下 7:12-14 前半、ローマ 1:3-4、マタイ 22:45、啓 22:16：

A. パウロは、自分が神の御子に関する神の福音へと選び分けられたと言いました。それは神の福音が子たる身分の福音であり、キリストのからだの実際のためであることを示しています——ローマ 1:1, 3-4、8:28-30、12:5。

B. ローマ第 1 章 3 節から 4 節は、サムエル記下第 7 章 12 節から 14 節前半の予表における予言の成就です。それは、神が人と成ったのは、神格においてではなく（礼拝の対象ではない）、命と性質において人を神とするためであるという奥義を明らかに示しています：

1. 肉体と成ることによって、神性における神のひとり子であるキリストは（ヨハネ 1:18）、神性とは何の関係もなかった肉体（すなわち、人の性質）を着ました。彼は人性において、神の御子ではありませんでした：

a. イエスは、人性においてダビデの子孫、神の旧創造（古い人——ローマ 6:6）に属する人の子孫でした——コロサイ 1:15 後半。

b. キリストは、人性におけるダビデの子孫として十字架上で死なれた時、古い人を旧創造と共に十字架につけ、悪魔を滅ぼし、肉において罪を罪定めし、この世を裁きました——ローマ 6:6、ヘブル 2:14、ローマ 8:3、II コリント 5:21、ヨハネ 3:14、12:31。

2. 復活の中でキリストの人性が神化され、息子化されたことの意味は、彼が神性においてだけでなく、人性においても神の御子となったということです——ローマ 1:3-4：

a. 復活の中で、彼は神の御子と明示され、神の長子とされて、神性と人性の両方を所有しています——8:29。

b. 十字架は、彼が明示され、彼の栄光が現され、彼が復活させられる最上の道でした：

(1) 一粒の種が土壌の中に埋められることによって死ぬなら、それは最終的に芽を出し、生長し、開花します。なぜなら、種の命の活動がその死と共に同時に活性化するからです——ヨハネ 12:23-24。

(2) キリストの死の時、キリストの中の神性（聖別の霊）は、働きだしました。復活において、彼は神の御子として「開花」しました。

(3) 肉によれば、キリストは十字架につけられましたが、復活においてキリストの神性としての霊なる神は、強化され、非常に活動的にされ、神性をキリストの人性の中へと入れ、それを神聖なものにしました。これが明示すること

の意味であり、これが息子化することです—— I ペテロ 3:18。

- c. キリストの人性は、聖別の霊、すなわち、キリストの神性によって明示され、しるしづけられ、引き上げられて、神性の中へと入りました。それはキリストが人性において再び生まれて、神の長子となったということです——使徒 13:33 :

(1) キリストは、復活において再生された最初の方です——ローマ 8:29 :

(a) 彼の人性は、彼の母の胎の中で生まれました。それは人に属するものであり、神の御子ではなく、人の子と考えることができました。

(b) キリストの復活は、彼の人性を引き上げ、彼の神性をこの人性の中へと入れました。ですから、この復活によって彼の人性は再び生まれて、神の御子の一部分となりました。

(2) 原型は神の長子であり、複製は神の多くの子たち、すなわち、原型の肢体たちであり、彼のからだとなって、新エルサレムにおいて究極的に完成します—— I ペテロ 1:3。

II. 「ダビデの子孫が神の御子となること」は、わたしたちが復活によって神の多くの子たちと明示される過程について語っています——ヘブル 2:10-11 :

A. キリストはすでに神と御子と明示されていますが、わたしたち、人の子孫は、依然として明示される過程、すなわち、息子化され神化される過程の中にいます——ローマ 8:28-29。

B. 神の御子の命は、わたしたちの霊の中へと植えられました—— 10 節 :

1. 今やわたしたちは地にまかれた種のように、死と復活の過程を経過しなければなりません——ヨハネ 12:24-26。

2. このことは外なる人を朽ちさせますが、それは内なる命を成長させ、発展させ、究極的には開花させることができます。これが復活です—— I コリント 15:31, 36. II コリント 4:10-12, 16。

3. わたしたちは、命における造り変えのために命において成長すればするほど、ますます神の子たちと明示されます :

a. わたしたちは成長するために、主に向けられた心、また主に対して純粋な心を必要とします—— 3:16, 18. マタイ 5:8. II テモテ 2:22。

b. わたしたちは成長するために、悪巧みのない言葉の乳と堅い食物の言葉の養いを受ける必要があります—— I ペテロ 2:2. ヘブル 5:12-14。

c. わたしたちは成長するために、賜物のある肢体たちの水注ぎを必要とします—— I コリント 3:6 後半. ヨハネ 7:37-39. 箴 11:25。

d. わたしたちの環境におけるすべての事柄を通して、またわたしたちの失敗によって、わたしたちの醜い自己は砕かれ、主はわたしたちの内側で働くさらに大きな機会を得ます——ローマ 8:28-29。

C. 復活の中で、キリストは人性において神の御子と明示されました。そのような復活によって、わたしたちも神の子たちと明示される過程の中にいます :

1. わたしたちが明示され、息子化され、神化される過程は、復活の過程であって、それには四つの主要な面があります。すなわち、聖別、造り変え、同形化、栄光

化です—— 6:22. 12:2. 8:29-30。

2. 明示される過程のかぎは、復活です。復活は内住のキリストであり、それはわたしたちの霊の中にある立ち上がる霊、明示する霊、命の力です——ヨハネ 11:25.

ローマ 8:10-11. 使徒 2:24. I コリント 15:26. 5:4 :

a. わたしたちはどのように霊にしたがって歩くかを学び、明示する霊を享受し、経験する緊急の必要があります——ローマ 8:4, 14。

b. わたしたちは、その霊に触れれば触れるほど、ますます聖別され、造り変えられ、栄光化されて、神格においてではなく、命と性質において神となり、キリストのからだを建造して、新エルサレムを究極的に完成します—— I コリント 12:3. ローマ 10:12. 8:15-16. ガラテヤ 4:6。

D. わたしたちは、命において成長し、造り変えという新陳代謝的な過程を経過すればするほど、ますます神の子たちと明示されます—— II コリント 3:18. 参照、6, 16 節. 5:4, 9, 14-15. 12:7-9 :

1. この新陳代謝的な過程は、キリストのからだまた神の家としての召会を建造することであり、それは神を人の中へと建造し込み人を神の中へと建造し込むことによつてです——ローマ 12:2. エペソ 1:22-23. 2:20-22。

2. この建造は、新エルサレムにおいて究極的に完成し、偉大な、団体の神・人、すなわち、神のすべての子たちの集大成、総合計となります——啓 21:7。

3. ある日、この過程は完成し、永遠にわたってわたしたちは霊、魂、体において神の長子であるキリストと同じになります—— I テサロニケ 5:23. I ヨハネ 3:2. ローマ 8:19, 23 (詩歌 764 番、2 節)。